

FD218

2.0

K

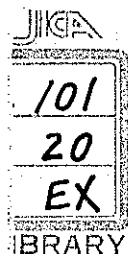
バングラデシュの一般事情

1-3

1973・5

海外技術協力事業団

海外事業部



国際協力事業団

受入 月日	87. 4. 22	101
登録 No.	08506	20
		EX

.....
..... 87. 4. 22

は し が き

本小冊子は、先般派遣した「バングラデシュ国派遣放送調査団」の報告書から抜萃した。調査団の日程が限られており、調査項目が日常生活全般をもうらしたものではないが、同国に赴任する専門家のためとりあえず印刷に付した。

JICA LIBRARY



1033219[5]

昭和48年5月

海外技術協力事業団

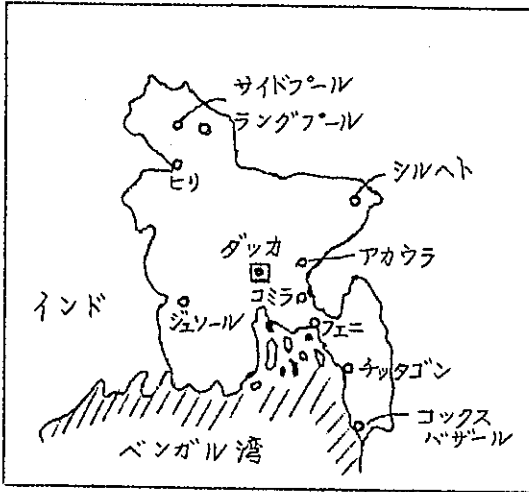
海外事業部

国際協力事業団	
入館 51.5.18	10-18
登録No. 3960	90
	K

目 次

I 任 国 事 情	1
1. 交通事情(飛行機、鉄道、バス、車等)	1
2. 宿泊施設(ホテル、住宅)	3
3. 食 事	5
4. 嗜好品(酒、タバコ、コーヒー、果物)	6
5. 電気・ガス・水道・石油	7
6. 市場・マーケット	8
7. 郵便・通信事情	8
8. 保健・衛生	10
9. 生活費	11
10. 治安状態	11
11. その他	12
II. 同国に対する我国の技術協力実績	13
III. 大使館等連絡先	13

バングラデシュ人民共和国略図



☆面積

14万2,155km²

☆人口

約2,150万人

☆首都

ダッカ (Dacca)

☆通貨単位

1タカ (TAKA)

= 33円

☆宗教 回教

☆公用語

ベンガル語

☆住民

ベンガル人



I. 任国事情

1. 交通事情

(1) 飛行機 国際線

• Thai International

DACCA
↔ BANGKOK 2回/週 DC-8

• インド航空

DACCA
↔ NEWDELHI 2回/週

• Azor-Flot (ソ連)

DACCA
↔ MOSKOW 1回/週

• Bangladesh-Biman

DACCA
↔ CALCUTTA 2回/週 F-27

• E.O.A.C 不明 不明

国内線

• Bangladesh-Biman

DACCA ↔ CHITTAGONG 5回/日 60 TAKA (40 min)

↔ SYLHET 2回/日 50 TAKA (45 min)

↔ JESSOR 2回/日 50 TAKA (40 min)

↔ COMILLA 1回/日 20 TAKA (30 min)

↔ ISHURDI 5回/週 45 TAKA (40 min)

↔ THAKURGAON 2回/週 ? TAKA

(2) 鉄道

DACCAの駅でさえ、1日10本程度の発着で常時混雑している。

Daccaは国の中央に位置し、東南のCHI-TTAGONG, 北東のSYLHET, 北のMYMENS-ING(ここを経由して、KHULNA, RAJSHAHI, インドのCALCUTTAへの3方向に向けて発着。ローカルの列車にはノ等はない模様。

(5) バス 詳細不明。台数は少ない感じで、見かけるバスは常に超満員。

(6) フェリー 大小の河川が主に北から南へ多数流れていて川中の広いものが多い。橋が少なく、フェリー(大~小)を用いて道路をつないでいる。道筋によっては小さいフェリーしかなく、大形車輛の通行には制限がある。混雑時は、時間単位で待たされることもめずらしくない。

従って行動の要領は マイクロバスよりもなるべく小形乗用車(1800CCぐらいまで)に分乗し、またGovernmentの"一筆"をもらって出かけ、行く先々の渡し場で管理人に見せて優先順位をもらうのも一方法である。

(5) 車 - (1) タクシー : Dacca 市内で 20 台 程度といわ
れる。年式も古く信頼性が乏しい。

- (2) マとい上げ乗用車 ; 比較的程度の良いもの
が得られる。数千円/日 + ガソリン

- (3) リンタク : 現地では "リクシマ" 人カ車
..... から と呼んでいる。Dacca など市内
用 ノ ~ 2 TAKA

- (4) オート・リクシマ ; 360 CC 程度? の三輪自
動車

- (5) 現地側の自家用車 :

- (6) その他 : 鉄道は普通車は混雑している。
ノ等車は、確実に金のある場所と見られて列
車強盗の目標になる怖れがある。もし、車掌
室など、特殊の場所が確保できれば利用も可
能。

極く特殊の条件下では GOVERNMENT のヘリ
コプター等も利用不可能ではないと推定される。

2. 宿泊施設

設備、便利さ、安全、衛生、保健等から考えて、外人

の安心して宿泊できる Hotel は Dacca で 2 軒、Chittagong で 1 軒だけである。その他の地方都市は政府施設、工場等の施設に頼ることになる。

(1) Hotel : Dacca Inter-Continental	ランク ①	
" Purbani	③	
Chittagong Agrabad	②	
(2) 政府等 : a) Circuit House	} 政府	
の施設 b) Rest House		2
c) <u>Dak Bangalaw</u>		3
d) Guest House (工場等)		

(1)にはエアコン、Long-Bath(時間給湯)、食堂(一定時間に行くと各種 order できる。)等がある。

"Inter-Conti"には pool もある。

(2)にはエアコンなし(例外あり)、シャワー、食堂(数時間以上まえに注文しておく。または自分で料理)等がある。

政府施設の内には Inspection Bangalaw があるが詳細不明

(3) 住宅 : 長期、家族同伴のために家さがしをするのは困難もしくは期間が6ヶ月~1年かかる。

また、そのため半年～2年程度の滞在で家を持つことはむずかしい。Servantの問題もある。

3. 食 事

前述の3軒のHotelおよび政府施設等では準備時間と食物の好みを別にすれば質量ともに不自由しない。

場 所	Comment	Price	備 考
1. Hotel	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べられる ・ 値段が高い 	15TAKA(朝) 5 25TAKA(夕)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hotelの水道蛇口で Drinkableなのは 'Inter-Conti'だけ
2. Chinese Restaurant	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hotelの$\frac{1}{2}$～$\frac{1}{3}$の値段 ・ 味もうす味で 日本人に合う 		<ul style="list-style-type: none"> ・ Daccaに5～6軒 ・ Chittagongに2～3軒 ・ 4～5で行った方がよい
3. 現地人用 食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安い ・ 衛生上不安 		
4. 現地人宅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生上信頼できる場合もある。 		
5. 現地人宅で持参のラーメン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上に同じ 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方移動中に昼食など短時間ですませたいときに好都合

・ 副食、日本茶その他を食欲増進のために持参することは好ましい。

- ・ Hotel では部屋にポットに入れた冷水を持って来るサービスがある。これに毎日 Boiled waterであることを確認する。
- ・ 水道は殺菌状況はよくないのでそのまま飲まない。
- ・ その他一般の生水を飲まないこと。

4. 嗜好品

価格を向題としなければ、酒・タバコ等の入手は可能

バングラ人は法律により禁酒

品名	場所	価格	種類	備考
(1) 酒	International のHotelのバー	whisky Brandy 10TAKA/1/12P/L	・ウイスキー ・ブランデー	
(2) タバコ	Hotelから街頭 の立売りまで	・現地 2~4TAKA タバコ ・船味 15TAKA (100)	・Capstan ・Kent ・Dumbill 等	
(3) Soft Drink	上に同じ			
(4) 菓子	・ベーカリー ・Hotel	パウンドケーキ 4~6TAKA	・パウンドケーキ ・クッキー ・米菓 ・その他	cm cm cm 15x15x10 5 正体不明に近いものもある。
(5) コーヒー 紅茶	・Hotel 現地人食堂 街頭	コーヒー Hotel 一杯 2TAKA 紅茶の 1/2ポンド 菓 3~4TAKA	紅茶 CHITTAGONG LIPTON ISPANHANI	コーヒー：輸入 紅茶：Banglaの 王屋物 現地人 食堂 街頭はさける。
(6) 果物	Hotelから街頭 の立売りまで		バナナ、パイナップル類、その他 やしの実	

5. 電気・ガス・水道・石油

(1) 電気 ○ 国土が平坦で、水力発電はノ個所しかなく、エンジン・タービン等による火力発電である。発・送電とも未だ施設が少なく発展途上である。

市内高圧は 11kV. 一般家庭は 220^Vで 50Hz

○ 電気器具のコンセントのプラグは 3本足で (ノ本はアース) 日本とはちがう。電球もソケットの形はちがう。いずれも 10TAKA 程度と高価ではあるが入手できる。

○ 電気器具は 200V 用のものを日本から持って出るか、または 100 \leftrightarrow 200V 用の変換トランスを持参するとよい。

(2) ガス ○ *Dacca* 市内の主要部のみ供給されている。

(3) 水道 ○ *Dacca*, 地方主要都市にはある。そのまゝ飲まないほうがよい。

(4) 石油
ガソリン ○ 1.5 TAKA/l 程度 但し *Jamma* 河の西側では石油の輸送手段に乏しいことから *Government* の許可証が入用である。

6. 市場・マーケット

○外国製品は輸入制限されていて量少く高価

New-Market、*Gulzgham-Newtown* の市場等特定の場所で購入可。

○国内産で外人の利用できるような高価な日用品は少ない。

— 紅茶 —

— 果物 —

— *Bakery* —

○外人の目から見て欠乏しているものは

— 医薬品 —

— 衣料品 —

— その他……石けん トイレットペーパー

7. 郵便・通信事情

(1) 郵便

外国から：目を引くような切手・絵はがきはさける。

絵はがきはほとんど届かない。

封書は届いても切手は残っていない。

○確実性のためには、目立たない包装で切手を貼らない取扱をせよ。

外国へ：
〔(1) BANGKOK経由：所要日数 4~5日
(2) CALCUTTA経由： / 10日以上

○従って(1)の航空便の1~2日まえを送んで郵便局へ出すのがよい。

○HotelのBoyに頼んで(車代・チップをやる)も日本に着かないことがある。

ポストに自分で投かんしても届かないことがある。

○確実性が必要ならGPO(中央郵便局)に行つてStampを押すのを確認すべきである。Bangkok等を買出しに出かけた時に投函する。

(2) 通 信

市外通話：回線はJESSOR-DACCA-CHITTAGONGがMICROWAVEである以外は、VHF、裸線であり回線数が少なく、便利さが地域によって制限される。

市内通話：時折MISS-CONNECTION(自動)される以外は良好。公衆電話なし。

* 電話機がA-Aサイズ程度で厚さ3cm程度で全国の加入者が収容される。

8. 保健・衛生

衛生状態は諸般の事情を考慮すれば、悪いのが当然である。水道は *Drinkable* ではないし、*Dacca* の No.2 の *Hotel* の居室にさえゴキブリが2日に1回は現われる。伝染病は WHO により指定地域になっているものがある。しかし、これらを怖れてばかりいても日本の援助が円滑にゆかない。他国が *ADVANTAGE* をとるだけである。

事前準備：予防接種 各種を完了すること、可能なものについては効果が出たか否かを医師に確認する。予防薬所要量の確保、服用の開始。

現地：平常の体調管理

生水を飲まないこと。必ず1回わかしてから飲む。

疑問のあるような食物に手をつけないこと。

蚊にさされたりしないよう方策を考える。

帰国後：各種伝染病にはそれぞれ潜伏期間のあるものがある。それらの期間のすぎるまで、体の変化に注意し、少しでも疑問の生じたときは検診してもらうこと。

9. 生活費

1日の基本になる生活費の主なものは、DaccaのNo.2
のHotel-Purbaniで

部屋代 Single =	約 100 TAKA	税込 (¥4,000-)
食事代	朝 15	
	昼 20	
	晩 25	
	<hr/>	
	60 TAKA	---- (¥2,400-)

しかし、Purbani級のHotelでの数ヶ月以上に
わたる長期滞在には若干疑問がある。

その他	床々	Hair-cut	4 TAKA
		Shave	2 "
		Hair-Wash	2 "

10. 治安状態

- 独立以来 35,000丁の小銃、自動小銃が地下にもぐ
ったまゝ。そのうち $\frac{2}{3}$ が Jamna 河の西の地区にあ
るとのこと。

時折新聞に武装銀行強盗の記事が出たりする(1-2回/Week)

- Dacca 市内でも夜間車の検問を行っていた。車
を運転していて検問を見かけたら自分から室内灯をつ

けるとそのまま Pass さしてくれる。

- 曲りなりにもく(それも限られた地区のみ)市内を夜間通行できるのは Decca だけである。

地方都市は現地人同伴の時のみ OK である。

- 町から町への移動は日没にかかるような SCHEDULE は組まない。

これらの話からわかるように警察の治安維持力----特に地方が強くないと云える。

11. その他

- (1) 物価は戦前の約2倍になっている。

インフレでマミ外貨が横行し、交換レートのお2倍である。

- (2) 日本のようなバー・キャバレーの類はバングラ人禁酒のためもあり、存在しない。

- (3) 荷物・持込外貨の CHECK は我々の場合「OFFICIAL」Pass port のために実質上 CHECK なし、持込・持出外貨の申請書の提出のみ。

- 但し、これは運用上の問題であり、今回の例にしすぎない。毎回同様とは限らないので念のため。

一般旅券の場合はかなり、ていねいに CHECK することである。

II 同国に対する我国の技術協力実績 昭和48年3月31日現在

区分 形態	農 水 産	建 設	鉱 工 業	運 輸	通 信	厚 生	行 政	そ の 他	累 計 (人)	経 費	
										(千円)	(千ドル)
研修員受入	4	1						3	8	814	2
専内家派遣		13		5	6			6	30	3304	10

III 大使館等連絡先

在バングラデシュ日本国大使館

住 所 Embassy of Japan
No.1 Shantinagar,
Dacca 2, BANGLADESH

電 話 242660, 242663

電 略 RYOJI DACCA

